

I 第45週の発生動向 (2014/11/3~11/9)

1. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で**警報**が発令されました。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の123人から113人に減少しました。
3. 水痘については、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。

II 第45週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)			
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	(90)	インフルエンザ													-4						
	(79)	RSウイルス感染症	9	1.1	3	0.3	12	1.2	2	0.4	9	1.5	1	0.3	36	0.9			9	1.1	
	(80)	咽頭結膜熱	6	0.8	32	3.6	3	0.3	3	0.6				44	1.1	16			6	0.8	
	(81)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.0	6	0.7	8	0.8			2	0.3	1	0.3	25	0.6	1			8	1.0
	(82)	感染性胃腸炎	53	6.6	13	1.4	25	2.5	5	1.0	7	1.2	10	2.5	113	2.7	-10			53	6.6
	(83)	水痘	5	0.6	11	1.2	5	0.5	1	0.2	12	2.0	33	8.3	67	1.6	14			5	0.6
	(84)	手足口病	1	0.1	2	0.2									3	0.1	-7			1	0.1
	(85)	伝染性紅斑			2	0.2	13	1.3						15	0.4	0					
	(86)	突発性発しん			1	0.1	8	0.8			6	1.0	1	0.3	16	0.4	5				
	(87)	百日咳														-2					
	(88)	ヘルパンギーナ								1	0.2			1	0.0	0					
	(89)	流行性耳下腺炎			1	0.1			1	0.2				2	0.1	-1					
眼科	(91)	急性出血性結膜炎														0					
	(92)	流行性角結膜炎	1	0.5										1	0.1	-5				1	0.5
	(97)	クラミジア肺炎							1	1.0				1	0.2	1					
	(98)	細菌性髄膜炎														0					
	(100)	マイコプラズマ肺炎										3	3.0	3	0.5	0					
	(101)	無菌性髄膜炎								1	1.0			1	0.2	1					
基幹	(82)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)						1	1.0					1	0.2	0					

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森3人、弘前1人、八戸1人、むつ1人 (2014年計:331人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): むつ1人 (2014年計:20人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

インフルエンザ (五類定点把握疾患)

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの飛沫感染、接触感染による急性気道感染症で、上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うことを特徴とします。潜伏期間は1~3日です。

2013/14シーズンの県内の患者発生は、例年同様12月から流行が始まり1月(第3週頃)から報告数が急激に増加し、1~2月(第4~11週頃)にピークが見られました(図1)。特に、昨シーズンは3月(第14週頃)まで流行が継続しましたが、県内のインフルエンザ患者数は5月(第19週)に1.33(人/定点)となり、全ての保健所管内において警報及び注意報レベルを下回りました。また、昨シーズンは流行当初よりB型が優勢でA型の発生数を上回る状況でした(図2)。今シーズンにおいては(第45週(11/9)現在)、東地方+青森市保健所管内で初発患者4人の報告があり、迅速診断キットによる型別はいずれもB型でした。今後の発生動向に注意が必要です。

好発年齢は学童・生徒ですが、本県でも14歳以下が約7割を占めており、その中でも10~14歳の年齢層における患者報告数が全体の約2割を占めていました。学校保健安全法の中では第2種の感染症に定められています(発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで出席停止)。また、高齢者にとっては命にかかわることにもなりかねません。本人の症状の回復と流行を防ぐためにも、感染の疑いのある場合には、早めに受診してください。

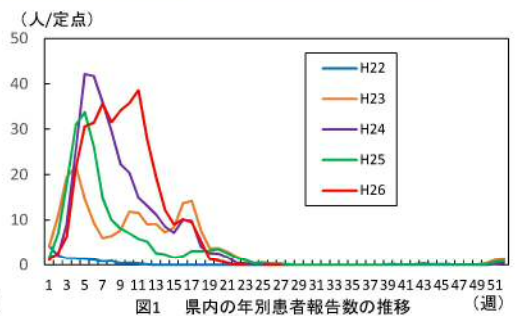


図1 県内の年別患者報告数の推移

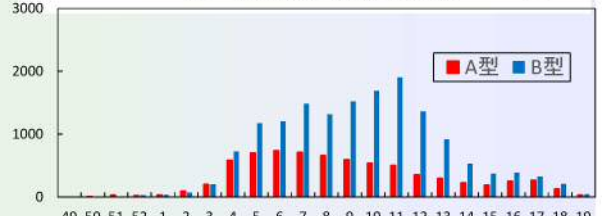


図2 迅速診断キットによる型別患者数の推移(2013/14) (第20週報・再掲)

予防対策として、流行前には・・・ワクチン接種、流行期には・・・人混みを避ける、マスクの着用、咳エチケット、外出後の手洗いの励行、などです。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第29週～第45週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	後天性免疫不全症候群1人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	A型肝炎1人 レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9						腸管出血性大腸菌感染症1人

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第35週～第45週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
35	H26.8.25 ~ H26.8.31	1	2	12	1	1	
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	1	5	3		1	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14	3	3	7	1	1	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21		1	4	1	1	
39	H26.9.22 ~ H26.9.28		1	3	1	2	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5	1	2	3			1
41	H26.10.6 ~ H26.10.12	2	6	4	1	1	
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	1	1			1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第43週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジアイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンギニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ボリビアスズ	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	21347	4	113	3691	49	15	119	415	15	8	1	1	1	57	11	126	317	202	2	10	1	53	1	12
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肺炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パノコマイン耐性球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	種痘性クリプトコックス症	薬剤耐性アンチバクテリ	感染
累積報告数	1005	36	926	197	380	85	142	219	1242	55	164	28	1390	9	1341	114	42	298	451	101	56	9	5	

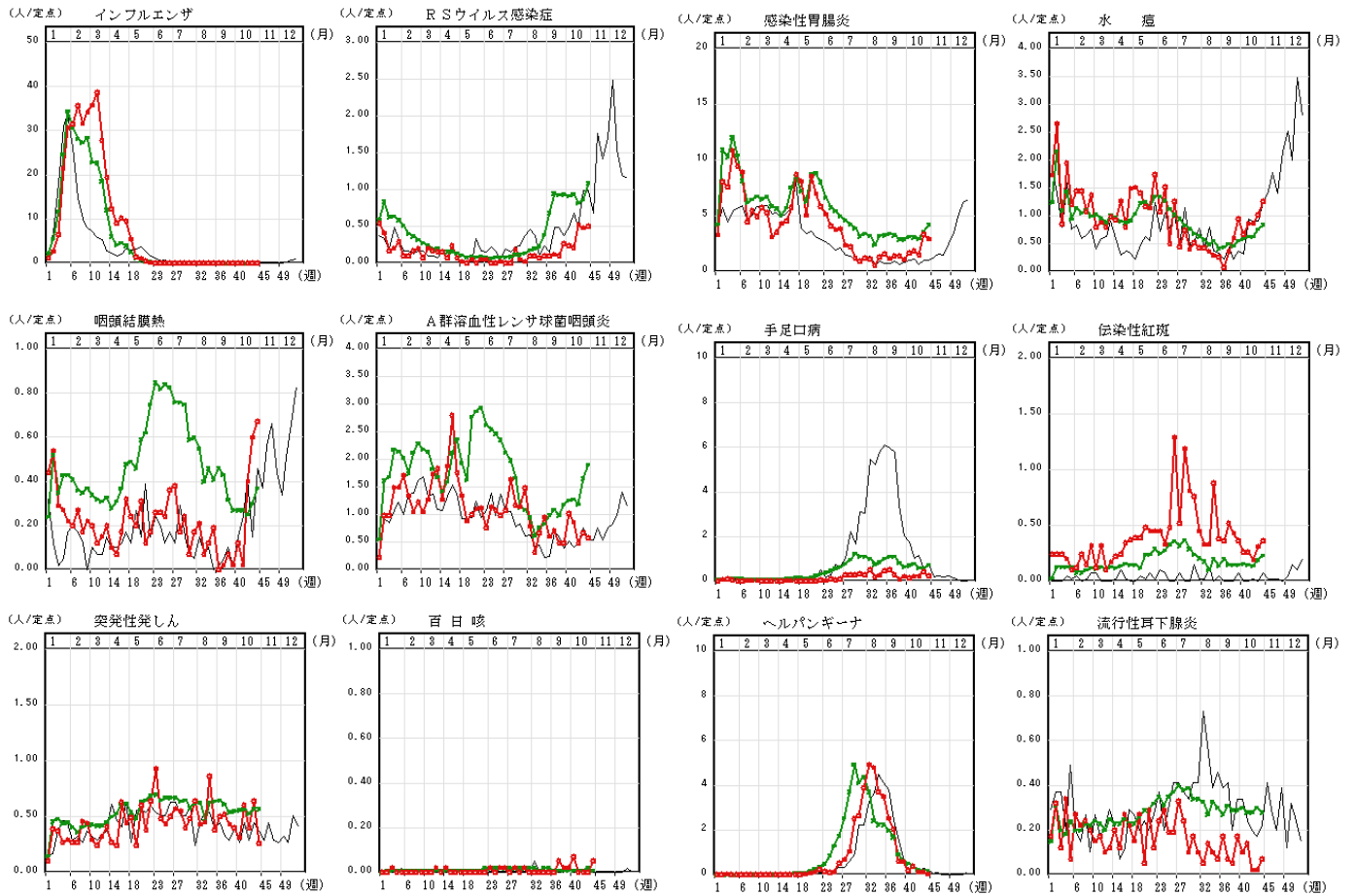
青森県

(2014年第1週～11月11日9:00累計)

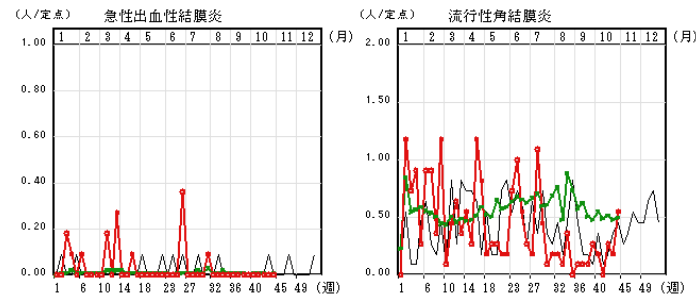
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	カルバペネム耐性腸内細菌感染症			
累積報告数	331	20	2	3	11	1	3	1	6	9	10	1	1	4	1	1	6	4	1	2			

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第44週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第44週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第44週)

